

# あいみ富有の里



～お知らせ版 第17号～

平成21年10月 1日発行  
発行元  
あいみ富有の里地域振興協議会  
編集委員会  
問い合わせ先 64-3504

## ◇「語り合おう 富有の里の明日を」 富有の里シンポジウム

「語り合おう 富有の里の明日を」をテーマに、あいみ富有の里では8月23日、地域づくりシンポジウムを開きました。島根県中山間地域研究センター・藤山浩さんの講演「中山間地域の明日」や住民参加のパネルディスカッションを通し、豊かな自然環境など地域の資源を再認識、地域づくり計画を柱に魅力ある富有の里づくりへ取り組むことを確認しました。

住民や同センター、鳥取県、津山市・美作大関係者など70人が出席。講師の藤山さんは、富有の里の人口について、4歳以下の子連れで30代前半の夫婦、20代前半の男女、60代前半の夫婦が毎年1組ずつ増えたとすれば、同地域の人口はほぼ安定的に推移する、との見解を示されました。

藤山さんはその上で、人口増に具体的な目標を持ち、命をはぐくむ場、という田舎ならではの魅力を掘り起こすことを提案。特に千人～2千人規模、ちょうど旧村、校区程度の範囲でにぎわい、出会いの場として拠点づくりの必要性を強調されました。「何も無い」は禁句。「この地域では、こんな暮らしができるという提案を次の世代とともに考える」よう投げかけられました。

パネルディスカッションでは、北海道出身の吉田さんは「自然の恵みが豊かで、魅力的な風景が広がる。協議会、地域づくり計画のことがよく知られていないので、夢を語り、一部が頑張るのではなく、住民が気軽に参加できるシステムを」。南部手自然ネットワークの活動にも取り組む井田さんは「米を作ることで、昆虫など命を育むという第三の価値を大事にしたい。若者は個性的で自己表現の場を求めている。若者が面白いものに」。東京出身の入江さんは「朝、鳥が鳴いたり、セミの音がする～当たり前が、実は素晴らしい。地域の中で色んな人同士が交流するため、拠点作りを急ぎ、楽しく暮らしていれば、若者も帰ってくる」と提案。

藤山さんも「活力、安らぎを作り出すのは手。言葉やお金でなく手でつながっていくことが大事。計画の柱となっている安心は手伝い 活力は手仕事、環境は、手入れ。手づくりで、手でつながり、手のぬくもりを持つ。そんな計画づくりを目指してほしい」と提言。会場からは「不足しているのは人との交流。ときどき無性に人と話したくなる。地下足袋でもさっと寄れるような場所がほしい」という願いも出ていました。

コーディネーター 岡田昭博（総務企画部副部長）

パネリスト 吉田尚代（ノムの糸車） 井田真樹（アガモ農法） 入江麻知子（染織）  
藤山 浩（島根県中山間地域研究センター科長）  
田貝有史（あいみ富有の里地域振興協議会会長）

主催：総務企画部

## ◇講演&パネルディスカッション



藤山浩先生



パネルディスカッション

## ◇シンポジウムギャラリー



入江さんの作品



富有の里拠点施設設計画



吉田さんの作品



岡田さんの写真展



井田さんのパネル展示

### 富有の風

#### 防災システムについて

当初は、災害弱者と支援者との関係をパソコンの地図上に落とし、災害弱者の状態や支援者の連絡先などを表示できるソフトを考え製作していたが、ソフトの運用を考えると災害時には集落を飛び越えての支援が必要になり、災害の状況に応じて支援に行くグループに対し集落の情報を提供し、到着後速やかに活動が出来るようにソフトもそれに合わせて大きく追加変更を行いました。

冬仕事で終わるはずだったソフトの製作が稲刈り時期になりやっと完成しました。

善治

### 行事案内

#### 親睦グラウンドゴルフ大会

主催：生涯学習部

日時：10月18日(日)

場所：南部町民グラウンド



#### 中山間交流事業(就将公民館祭り)

日時：10月25日(日)9:30から16:00

場所：就将公民館

都市部との交流で、就将公民館祭りに参加します。

バザーなど地元富有の里の食材を出店します。

お気軽に参加ください。